



令和3年

新年のごあいさつ



九重町長
日野 康志

明けまして
おめでとーございます

まず、初めに、昨年の7月豪雨災害により被災された皆様、また、家屋の倒壊等により現在も仮住まいをされている皆様方に改めましてお見舞い申し上げます。

また、旧年中は町政推進に對しまして、格別なるご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、「令和2年7月豪雨災害」と新型コロナウイルスにかかる「コロナ禍」、この2つに尽きるのではないかと思います。

7月の豪雨では、家屋や耕地、河川や山林等の崩壊をはじめ、これまでに経験したことのない未曾有の大災害が発生しました。家屋の被害だけでも全壊・半壊・床上・床下浸水が189棟、そして耕地災害の1250箇所をはじめとして、2000件を超える被害が発生し、その被害額は約117億円にの

ぼります。

また、これに加え、災害による観光業、農業へのダメージを考えると、その経済的損失はさらに大きなものとなっております。町民の皆さんの不安解消のためにも、農地小規模災害復旧事業をはじめとした各種の町単独補助事業を展開しながら、スピードを上げて早期の復旧・復興を目指してまいりました。

そして、新型コロナウイルスの感染拡大による、いわゆる「コロナ禍」では、昨年2月以降のウイルスの感染拡大を受け、商業・観光業への影響は甚大なものとなりました。また、マスクや消毒用アルコール液などの品薄や3密対策など「新しい生活様式」が広がり、私たちを取り巻く生活環境は大きな変化を余儀なくされました。

本町では新型コロナウイルス対応交付金の活用を図り約5億円を対策事業費として計上し、「地元応援プレミアム付商品券事業」や「ふるさとクーポン事業」など各種事業による、中小企業や観光業への下支えを行いながらコロナ禍対策にも取り組んでまいりました。

しかし、新型コロナウイルスの猛威は止まることを知らず、ワクチンの開発も進んでいないものの、今後の見通しは不透明な状況です。

このように、非常に厳しい中ではありますが、一方で、町内

外の方々からのご支援や励ましもたくさんいただきました。7月豪雨に際しては、災害発生直後より災害支援物資や義援金、支援金を数多くの団体、個人の皆さまから頂戴するとともに、災害ボランティア活動には、延べ2000人を超える方々が参加し、復興への勇気をいただきました。また、新型コロナウイルス感染予防では、マスク、消毒用アルコールなどの支援をいただくなど、本当に多くの皆様から温かい思いを届けていただき、繋がり大切さを心から感じる一年でもありました。

さて、令和3年を迎え、まず取り組まなければならないことは、何といても災害からの復旧・復興です。安心・安全なまちを目指すためにも、早期の復旧・復興を必ず成し遂げなくてはなりません。

コロナ禍や災害の中では、財政にも大きな影響が出ます。災害対策においてもこれから復旧費が膨らむことが予想されます。そのため、必要なことにはこれからも躊躇なく取り組みつつ、ハード事業のローリングによる将来的な財政負担の平準化を図りながら、健全な財政の堅持に努めてまいります。

そして、もう一つ重点的に取り組んでいかなければならないのは、九重町の基幹産業である「農業」と「観光」の再興です。これまでも、新型コロナウイルス

イルス感染症拡大防止のためにあらゆる手を尽くし、かつ経済との両立を図ってきたところで、今年も昨年延期となつた、「第5回山の日全国大会」が開催され、本町はメイン会場となります。これを機会に、本町の雄大な自然と魅力を全国の皆様に感じていただき、九重町の復旧・復興への契機としたいと考えています。

町民の皆様は2期目のかじ取りをお任せいただきましたが、本年は生活基盤の復旧と、九重町の基幹産業である「農業」と「観光」の復興の年であると決意を新たにしています。非常に大きなダメージからのスタートとなりますが、安心・安全で持続可能な町の創造に向けた『協働のまちづくり』を進めてまいります。そのためには、町民の皆様と行政が意識の共有を図り一体となることが大切です。また、災害からの復旧・復興は、皆さんとの協働無しではあり得ません。町民の皆様との対話を原点として未来の九重町を創るべく町政に取り組んでまいりますので、皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

本年が皆様にとって、輝かしい一年となりますようご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。



謹賀新年



九重町農業委員会

会長 手島 政弘



新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素より農業委員会活動につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

九重町農業委員会は平成三十一年四月に改選をしてから、農業委員十一名・農地利用最適化推進委員十二名・合計二十三名で二年目の活動を行っているところでございます。

今日の農業を取り巻く環境は大変厳しい情勢にあります。旧年中においては新型コロナウイルスの感染拡大、七月豪雨災害、ウンカの大量発生等があり、皆様にとっても非常に厳しい一年となりました。特に七月豪雨災害において、多くの方が甚大な被害を受けている状況でございます。農地の利用状況調査（農地パトロール）の際にはその状況を目の当たりしてまいりました。

このような厳しい情勢を打開して、地域の農業を守り活性化を実現していくため、今後とも引き続き農業委員会一丸となりまして努力をしていく所存でございますので、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、この新しい年が皆様にとって実り多き年になるよう心より祈念いたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。

ミニ門松づくり



東飯田地区
宝っ子“夢”フィールド



12/16

毎年恒例となっているミニ門松づくりが東飯田地区宝っ子“夢”フィールドと南山田地区放課後児童クラブで行われました



南山田地区
放課後児童クラブ



12/24

地区民生委員が作った
ミニ門松に飾りを付けて
完成させました

